



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所 東
 コード番号 4975 URL <https://www.jcu-i.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 木村 昌志
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員経営戦略室長 (氏名) 井上 洋二 (TEL) 03-6895-7004
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	21,514	3.8	8,887	16.4	9,003	13.2	6,578	19.9
2025年3月期第3四半期	20,732	20.5	7,636	41.8	7,954	41.2	5,487	46.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,256百万円(-11.7%) 2025年3月期第3四半期 5,601百万円(△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 錢	円 錢
2026年3月期第3四半期	264.60	—
2025年3月期第3四半期	217.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	55,922	51,071	91.3
2025年3月期	54,841	47,812	87.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 51,071百万円 2025年3月期 47,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	37.00	—	39.00	76.00
2026年3月期(予想)	—	41.00	—	54.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 錢
通期	29,200	3.0	11,600	10.3	11,800	8.1	8,500	13.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	26,529,949株	2025年3月期	26,529,949株
2026年3月期3Q	1,830,926株	2025年3月期	1,608,714株
2026年3月期3Q	24,862,967株	2025年3月期3Q	25,254,359株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、個人消費において消費者マインドに持ち直しの動きが見られたことに加え、雇用環境や企業収益の改善などにより景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。製造業では、弱含んでいた電子部品に持ち直しの動きが見られ、生産活動は一進一退の状態で推移しております。企業の投資状況は、デジタル化、省力化などへの対応を中心を持ち直しております。

海外では中国において、各種政策の効果は見られるものの、長引く不動産不況の影響を受け、個人消費がおおむね横ばいで推移するなど景気は足踏み状態となりました。製造業は米国の通商政策の影響を受け引き続き対米輸出が減少しているものの、輸出市場の多角化などにより堅調に推移いたしました。欧米諸国においては、一部の地域において景気は持ち直しの動きが続いているものの、依然として先行きの不透明感が継続しております。今後につきましては、引き続き米国の政策動向による影響などに注視が必要な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス産業において、在庫調整が一巡したとみられるスマートフォンやパソコンをはじめとする様々な高機能電子デバイスは堅調に推移し、各種製品の出荷台数が増加いたしました。自動車産業は中国において、各種政策効果により需要が押し上げられたため、生産台数は増加いたしました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年比増減
売上高	20,732百万円	21,514百万円	3.8%増
営業利益	7,636百万円	8,887百万円	16.4%増
経常利益	7,954百万円	9,003百万円	13.2%増
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,487百万円	6,578百万円	19.9%増

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

電子分野

中国 スマートフォンやパソコンをはじめとする高機能電子デバイス向けプリント基板及び半導体パッケージ基板の需要が好調に推移し、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

台湾 スマートフォンやサーバーなど高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板の需要が好調に推移し、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

韓国 半導体市場の底打ちや顧客の在庫調整の進展により半導体パッケージ基板需要の緩やかな回復が継続し、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

装飾分野

日本 デザイントレンドの変化に伴う薬品需要の低下もあり、薬品売上高は前年同期比で横ばいに推移いたしました。

中国 各種政策効果により需要が押し上げられたことで自動車の生産台数は増加したもの、当社が対象とする自動車部品の需要が低下したため、薬品売上高は前年同期比で横ばいに推移いたしました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年同期比
売上高	17,812百万円	19,505百万円	9.5%増
セグメント利益	7,904百万円	9,321百万円	17.9%増

(装置事業)

受注案件は予定通り進行いたしましたが、大型案件の新規受注が減少したため、売上高、受注高及び受注残高は大幅に減少いたしました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	前年同期比
売上高	2,920百万円	2,008百万円	31.2%減
セグメント利益	421百万円	298百万円	29.2%減
受注高	1,793百万円	1,290百万円	28.0%減
受注残高	3,145百万円	622百万円	80.2%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,081百万円増加し、55,922百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金、売掛金の減少により4,205百万円減少し、36,018百万円となりました。

固定資産は、主に建物及び構築物（純額）の増加により5,286百万円増加し、19,904百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,176百万円減少し、4,851百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少により2,139百万円減少し、4,208百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金の減少により36百万円減少し、643百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ3,258百万円増加し、51,071百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、電子分野向け薬品は、半導体関連市場における、AIやIoTの普及及び自動車の自動運転など様々なデジタル技術の革新に伴い、中長期的には当社事業に関連するプリント基板、半導体パッケージ基板の需要が拡大すると予想されます。一方、装飾分野向け薬品は、主な対象となる自動車部品において、デザイントレンドの変化や電気自動車の普及による需要の低迷が影響しており、今後も横ばい基調で推移するものと予想されます。

このような状況を踏まえ、当社グループは中長期の方向性として「2035年に目指す姿」を「独自の強みを最大限に活かし、環境や社会に貢献することで、社会とともに成長し続けるグローバル企業」と定め、日々変化し続ける外部環境に対応しつつ、常に技術・サービス体制を強化していくことで、社会価値と経済価値の追求による企業価値向上を図ってまいります。

また、これを実現するため、当社グループは中期経営計画「JCU VISION 2035 - 1st stage-」（2025年3月期～2027年3月期）を策定し、「成長分野への積極的な投資」、「経営基盤の強化」、「DX推進によるデータの利活用」、「既存市場における収益性強化」、「サステナビリティ経営の推進」及び「人的資本、知財・無形資産の活用」を基本方針に、取り組みを推進してまいります。

なお、当第3四半期連結累計期間までの状況及び今後の見通し等を勘案したうえで、2025年5月13日に「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2026年3月期期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,046	22,155
受取手形	1,714	2,018
売掛金	8,324	7,465
契約資産	356	115
有価証券	66	–
商品及び製品	1,496	1,723
仕掛品	106	90
原材料及び貯蔵品	711	786
その他	1,441	1,710
貸倒引当金	△42	△47
流動資産合計	40,223	36,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,401	9,808
機械装置及び運搬具（純額）	1,025	931
工具、器具及び備品（純額）	839	1,041
土地	915	1,124
リース資産（純額）	21	15
建設仮勘定	5,626	3,508
有形固定資産合計	11,830	16,429
無形固定資産		
その他	135	291
無形固定資産合計	135	291
投資その他の資産		
投資有価証券	1,402	1,945
繰延税金資産	798	791
その他	451	446
投資その他の資産合計	2,652	3,182
固定資産合計	14,617	19,904
資産合計	54,841	55,922

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,934	1,012
電子記録債務	407	–
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	91	45
リース債務	14	15
未払法人税等	2,065	876
賞与引当金	407	358
工事損失引当金	–	3
その他	1,126	1,596
流動負債合計	6,347	4,208
固定負債		
長期借入金	30	–
リース債務	21	10
退職給付に係る負債	146	172
繰延税金負債	161	145
資産除去債務	285	289
その他	34	25
固定負債合計	680	643
負債合計	7,028	4,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281	1,281
資本剰余金	1,222	1,226
利益剰余金	44,060	48,648
自己株式	△4,975	△5,986
株主資本合計	41,589	45,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304	718
為替換算調整勘定	5,918	5,182
その他の包括利益累計額合計	6,223	5,900
純資産合計	47,812	51,071
負債純資産合計	54,841	55,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	20,732	21,514
売上原価	7,161	6,474
売上総利益	13,571	15,039
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,840	1,906
賞与	541	552
退職給付費用	103	124
減価償却費	430	522
貸倒引当金繰入額	－	5
その他	3,017	3,040
販売費及び一般管理費合計	5,934	6,152
営業利益	7,636	8,887
営業外収益		
受取利息	136	83
受取配当金	40	46
為替差益	165	－
貸倒引当金戻入額	0	－
その他	31	36
営業外収益合計	374	166
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	－	18
持分法による投資損失	44	13
その他	8	15
営業外費用合計	56	51
経常利益	7,954	9,003
特別利益		
固定資産売却益	0	13
投資有価証券売却益	45	－
特別利益合計	45	13
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	10
減損損失	－	8
子会社整理損	－	21
特別損失合計	2	39
税金等調整前四半期純利益	7,998	8,977
法人税、住民税及び事業税	2,562	2,556
法人税等調整額	△52	△158
法人税等合計	2,510	2,398
四半期純利益	5,487	6,578
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,487	6,578

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,487	6,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113	413
為替換算調整勘定	231	△736
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	0
その他の包括利益合計	113	△322
四半期包括利益	5,601	6,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,601	6,256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式231,600株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,039百万円増加しました。また、2025年7月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、自己株式9,536株を処分しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が29百万円減少しました。これらにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,986百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	薬品事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,812	2,920	20,732	—	20,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,812	2,920	20,732	—	20,732
セグメント利益	7,904	421	8,325	△688	7,636

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益 (単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△688
合計	△688

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	薬品事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,505	2,008	21,514	—	21,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,505	2,008	21,514	—	21,514
セグメント利益	9,321	298	9,619	△732	8,887

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益 (単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△732
合計	△732

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「薬品事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるJCU INTERNATIONAL, INC.の解散及び清算を決議したことに伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日
至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間
(自 2025年4月1日
至 2025年12月31日)

減価償却費

621百万円

721百万円